

変えよう！明日の希望が叶える 新しい区政に 日本共産党



いよいよ2003年の幕開けです。どこでも「今の政治を変えてくれ」という声があふれています。

日本共産党は、小泉「構造改革」と正面から対決し社会保障の負担増中止、庶民増税反対など国民生活を応援し、国民の購買力を回復させ日本経済の国民本位の再建をはかる、「4つの緊急要求」をかけた広範な人々との共同をひらげています。

日本医師会など医療関係四団体は、「3割自己負担の実施の凍結」などを求める共同声明を発表し、国民運動を展開しています。労働団体の連合も政府に対し「国民負担増の凍結」を申し入れました。

区内でも中小業者の仕事確保、介護保険の負担軽減や子育て支援などを求める運動が広がっています。こうした方向を大きくすることこそ、希望ある未来を開く力ではないでしょうか。

今年は4月13日投票で都知事選挙が行われ、5月18日投票で足立区長選・区議選が行われます。

新しい変化の流れとともに、自民党政権を転換し景気の回復、社会保障の充実など、安心して暮らせる政治を実現する絶好のチャンスです。

日本共産党区議団はみなさんと力を合わせ、明日の希望がもてる新しい区政をつくるためがんばる決意です。

みなさんとともにがんばります

											
鈴木けんいち	村田 晃一	さとう純子	ぬかが和子	伊藤 和彦	鈴木秀三郎	今井 重利	小野 実	橋本ミチ子	渡辺 修次	針谷みきお	大島 芳江
《自宅》 足立区青井一四一〇 (五八八八)三五二二	《自宅》 足立区保木間 一一七四〇六 (三八八四)九六一一	《自宅》 足立区江北七二三二 (五六九二)五九五五	《自宅》 足立区伊興一五二三 (三八五四)七一五七	《自宅》 足立区花畑六七二三 (三八五九)六九五二	《自宅》 足立区日ノ出町 二七三一一三〇 (三八八二)三九二三	《自宅》 足立区東和三二一七 (三六〇六)七二六四	《自宅》 足立区梅島二二三一 (三八四九)〇二二三	《自宅》 足立区梅田八一四二二 (三八八六)七三三二	《自宅》 足立区佐野 二一六一一〇四 (三六〇五)七六六六	《自宅》 足立区入谷三二二五 (三八五三)一二〇七	《自宅》 足立区千住桜木 二一七二二〇三 (三八七〇)三九二二



都議会議員
渡辺やすのぶ

《事務所》
足立区千住電田町八一
(三八八二)一八七〇



2002年第4回定例区議会報告

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax. 03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ <http://www.cpi-media.co.jp/adachi/>

力をあわせ区民のねがい実現へ

子育て 高齢者 中小業者

区民のつよい願いと、日本共産党のねばりつよい提案が議会を動かし、介護保険料のすえおき、乳幼児医療費助成の所得制限撤廃、住宅改良助成事業の復活、学童保育の時間延長などが12月議会で相次いで実現。いま政治の流れが大きく変わりはじめています。

日本共産党は、第2回区民アンケートに示された区民の切実な声を取りあげ、具体的な緊急提案をおこないながら、区民生活を守る区政への転換を求めがばっています。



いま政治の流れが大きく変わりはじめています

希望ある未来を日本共産党とともに

介護保険料の

値上げストップ

介護保険料の値上げが全国の自治体で検討されている中、十二月議会において区は「基準保険料の据え置きを行いたい」と答弁しました。

これまで鈴木区政は負担軽減策を、「最後の一区になって もやらない」とのべ、区民の願い

に



高齢者には重い負担の介護保険料です。値上げがされずよかったですね。

東和四丁目
三好すみおさん

背を向けてきました。

しかし、負担軽減を求め三万八千名の署名をはじめとする区民世論と、日本共産党の粘り強い提案が実り、値上げをストップさせました。

乳幼児医療費の

所得制限撤廃

ついに実現

小学校入学前の子どもが安心して医療を受けられるようにと求められてきた乳幼児医療費助成の所得制限撤廃が、平成十五年度、十六年度とかけ実現することになりました。

日本共産党は吉田万三前区長と協力して、乳幼児医療費を就学前まで無料にし、所得制限も四歳



友人は「子どもってしょっちゅう病気でほんと大変なの」といっています。所得制限がなくなつてよかった。

平野二丁目

園山あゆみさん

住宅改良助成事業を復活

未滿まで広げました。ところが鈴木区政は所得制限撤廃の流れをとめてしまいました。

日本共産党は区民運動と共同して、切実な願いを予算修正案や条例案の提出などで実現を迫ってきました。この結果、議会の共通の世論となり、ついに十二月議会で、所得制限を撤廃する条例が全会一致で可決されました。



この助成事業の復活で、地元業者に仕事がどんどんまわればいいと思います。

島根四丁目
松尾かつやさん

学童保育室の増設

時間延長が実現

不況で働く母親が増えるなか、学童保育室の増設と時間延長がますます切実な願いとなっています。

この願いが一人以上の署名となつて一昨年十二月に議会に提出されましたが、自民・公明によって否決されました。

日本共産党はくりかえし、予算修正案の提出や委員会での質疑で要求。平成十五年度七カ所の開設と、六時までの時間延長実現となりました。



旧区役所跡地

「区民の声をきいてほしい」

利用計画めぐり住民がシンポジウム

足立区の旧区役所跡地をどう利用するかについて考えるシンポジウム（主催、区役所跡地利用計画を考える会）が十二月三日開かれました。

ホテル計画が区民の反対で中止されたあと、今回は民間企業に土地を貸し、民間企業が提案したデジタルファクトリーという映像産業を中心とする施設をつくる方向で、話し合いがすすまられています。

しかしシンポジウムでは、「区民が使えるところがない」「採算の取れない計画では、つくった方がいいが失敗したら区民の税金を無駄に使うことになる」「区民の声をきいてほしい」など疑問や意見が噴出。計画の見直しを迫る声がひろがっています。